

シンポジウム「建築基準法の性能規定化と火災安全設計の今後」

現在、建築基準法の性能規定化の作業が急ピッチで進められており、来年度には従来の火災安全設計の方法に大幅な影響が出ると考えられます。しかし関西地区では未だその具体的内容が明確に把握されていません。そこで本シンポジウムでは、防火規定がどう変わろうとしているのか、性能的火災安全設計とはどのようなものかを実際に関わって来た方々に説明していただき、また性能的設計法の代表例として近畿支部、加圧防煙研究会によって検討されてきた附室加圧防煙設計手法を紹介して頂きながら、関西地区が防火規定の性能規定化の流れにどう対応していくべきかについて討論します。

<主催> 近畿支部・防災計画部会

日 時：1999年9月29日(水) 13:00~17:00

会 場：大阪科学技術センター 4階404号室 (大阪市西区靱本町 1-8-4)

<プログラム>

1. 主旨説明 田中 哮義 (京都大学防災研究所)
2. シンポジウム
 - 1) 建築基準法防火規定の改正について 辻本 誠 (名古屋大学)
 - 2) 防火総プロ以後の性能的火災安全設計の動向 上原 茂男 (竹中工務店)
 - 3) 新たな煙制御システムの可能性 森山 修治 (日建設計)
 - 4) 加圧防煙設計の要点 松下 敬幸 (神戸大学)
 - 5) 附室加圧防煙に於ける給気量の決定方法 久次米 真美子 (日建設計)
 - 6) 性能規定化に向けた日本建築総合試験所の取り組み 吉田 正友 (日本建築総合試験所)
3. 討 論 司会：田中 哮義 (前掲)

参加費 無料

資料代 実費(近畿支部防災計画部会加圧防煙研究会：事務所ビルの加圧防煙設計手法)

定 員 100人(先着順)

問合せ 近畿支部事務局 (TEL 06-6443-0538 FAX 06-6443-3144)

以上